

コロナ禍でも

# がん検診による早期発見が重要です ～日本人に急増している大腸がんを知ろう～

現在、大腸がんは全てのがんで一番罹患数の多いがんとなっています。大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がないため、早期発見及び治療をするには、症状のないときに大腸がん検診（便検査）を受け、必要があれば内視鏡検査を受けることがとても大切です。ぜひこの講演会が、大腸がんに対する検診や内視鏡診療の最新の情報を知る機会になればと思います。



**日時** 10月20日(木) 14:00～15:30(受付開始 13:30～)

**会場** ①左京区役所1階大会議室AB  
②京都教育文化センター103号室

※講師は左京区役所の会場にて講演します。

また、京都教育文化センターとはZoomでつなぎライブ配信します。

**定員** 各会場50名+オンライン参加30名(各先着)

※この講演会は、会場での参加のほかにオンラインでの参加も可能です。

## 第1部

### 大腸がんのがん検診や内視鏡による早期発見と 内視鏡治療の進歩について

**講師：吉田 直久 先生** 京都府立医科大学附属病院、内視鏡・超音波診療部 講師、  
非営利活動法人 京都大腸がん検診啓発ランナースK-Dr代表

大腸癌の内視鏡診断・治療および抗がん剤治療を専門にこれまで2000名以上の診療経験を有し、国内外の学会で大腸がんのご講演や内視鏡手術の技術指導（ライブセミナー）なども多数行っております。一方で大腸がん検診の啓発活動を京都府や各種患者団体・企業などと一緒にっており、新聞や雑誌などのメディアにも掲載されております。



## 第2部

### もしも、がんと言われたら ～がん患者さんの在宅療養生活～

**講師：出島 恵美子 氏** 京都府がん総合相談支援センター 相談員（保健師）

センター開設当初からがん相談員として、患者さんやご家族からの相談にあたっています。みなさまのお悩みに寄り添えるよう、適切な情報提供やアドバイスができるよう日々努めています。



## 他

左京区役所健康長寿推進課から本市がん検診の紹介  
京都市左京区在宅医療・介護連携支援センターからの事業紹介

申込み方法についての詳細は、  
裏面をご覧ください。

主催：一般社団法人 左京医師会、左京区役所

後援：京都市左京歯科医師会、左京薬剤師会、京都市左京区社会福祉協議会、  
左京区地域ケア連絡協議会、左京区事業者連絡協議会、  
京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。